



# 第11回 富山県公的病院安全医療研究大会

平成 23 年 6 月 25 日（土）砺波市文化会館にて市立砺波総合病院の杉本立甫院長が大会当番長を担当され、安全医療研究大会が開催されました。17 演題の発表があり、県内各地より 520 名の参加がありました。特別講演は、東京湾岸リハビリテーション病院の大高洋平先生が、「高齢者の転倒予防」と題し、転倒の要因や転倒予防の地域での取り組みについて講演されました。

当院からは、中央放射線部の灰田誠放射線技師が、「放射線部における医療安全に関する取り組み」のテーマで、「患者誤認防止」や「再撮影の減少」について発表しました。



中央放射線部  
灰田 誠 技師



### < 当院からの参加者の感想 >

- ◆ 注射ミキシング作業中断の防止対策として、「作業中！話しかけないで！」とタスキをする対応策を取り入れた発表があり、良い方法であると思った。(H)
- ◆ インシデントから具体的な業務改善に取り組んだ実践報告が多く参考になった。(T)
- ◆ 患者に直接関与する看護部や薬剤部からの発表が多いと思った。(U)
- ◆ 特別講演では、【転ぶ】【つまづく】の動画でなぜ高齢者が転ぶのかをわかりやすく説明された。また転倒発生率や転倒時の骨折のリスクについて入院時に説明を行っているという紹介があった。(N)

## 2010年BLSガイドラインの変更点

BLS : Basic Life Support = 一次救命処置

2010年BLSガイドラインの**変更項目を赤字で記載**してありますので、ご参照ください。

(ICLS委員会)

要素	2010年	2005年
認識	意識と呼吸なし→応援要請 応援要請後に頸脈拍触知 →触知できない →胸骨圧迫開始	意識と呼吸、頸動脈触知なし →応援要請 →胸骨圧迫開始
CPR手順	C-A-B C：胸骨圧迫 A：気道確保 B：人工呼吸	A-B-C A：気道確保 B：人工呼吸 C：胸骨圧迫
胸骨圧迫のテンポ	100回/分以上	100回/分
圧迫の深さ	5cm以上	3~5cm

回 覧									

\* 医療安全通信は、各部署で回覧サインをし、保管をお願いいたします。